

心を理解する

シリーズ～神の知恵～

2019/3/31

心を知る 3/24~4/27

- 心を理解する 3/24~4/2
- 欲望の順位を並べ替える 4/3~9
- 誘惑を理解する 4/10~13
- 感情を理解する 4/14~27

行動が心を作る 3/24

神に逆らう者の道を歩くな。悪事をはたらく者の道を進むな。それを避けよ、その道を通るな。そこからそれて、通り過ぎよ。(箴言4:14)

- 気持ちが先か、行動が先か？
 - 現代は「感情が行動を決定する」と考える
 - “自分に正直”という言い訳
- 聖書は「行動が先」だ、と教える
 - 「イエスが私たちの敵を愛せよ(マタイ5:43-48)と話された時、温かな気持ちを努力して作り上げよ、
と云ってはおられません。自らを犠牲にしても敵の利益を求めよと教えて下さっているのです。」TK

心が行動を作る 3/26

力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれから**わく**。偽りを言う口をあなたから取り除き、曲がったことを言うくちびるをあなたから切り離せ。(4:23-24/改訳)

- すべては「**心**」から「**わく**」
 - 何に信頼し、コミットし、愛しているかを決めている
 - 「**心**が最も愛し信頼しているものを、**思考**が正当化し、**感情**が欲望を動かし、**意志**が行わせようとするのです」TK改
- しかし、行動と心は不可分である
 - 「心は中心部を司っているけれど、言葉、目つき、足が心に影響を与えている」「他人の悪口を言えば、心がひねくれる」TK

自分の心を欺く 3 / 25

神に逆らう者の道は闇に閉ざされ / 神につまずいても、知ることはない。(4:19)

- 自分で自分を欺くことができる(自己中心)
 - 「私は自慢に思っているのではなく、自信があるだけだ。不快にさせようとしているわけではなく、ただ率直なだけだ。欲張りなのではなく、ビジネスで抜け目がなただけだ」TK改
- 自分の問題が分かってくる(神中心)
 - 「神の愛の中では、私たちの力によってではなく、イエスの働きによって、私たちの隠れた欠点が表されるのが最も安全な方法です。」TK

自分の心を過信しない 3/27

人は自分の行ないがことごとく純粹だと思ふ。しかし主は人のたましいの値うちをはかられる。(16:2/新改訳)

- 自分には自分の動機は純粹に見える
 - 「自分の誠実さや清さをいつも過信していると、よく考えず衝動的に物事の判断をしてしまいます。他の選択肢を簡単に撥ね付け、他の人に委ねることを頑固に拒みます。」TK
- 自分の心を過信しなければ
 - 自分の良心に甘くなり過ぎない
 - 自分の心に厳しくなり過ぎない
 - 「自分の感情ではなく、**福音**に従いなさい。」

罪を認める 3 / 28~29

罪を隠している者は栄えない。告白して罪を捨てる者は憐れみを受ける。(28:13)

- 全ての人は罪人であり救いを必要としている
 - 「知恵ある者は、この世を「善人」と「悪人」に分けたりはしません。道徳的・不道徳的はどちらも、方法は異なるにしろ、神からは遠いのです。」TK
- 私たちは“言い訳の天才”
 - 嘘をつく・他人を責める・状況のせいにする・動機は良かったが方法がまずかっただけだと言う
 - 罪を認めないと「精神生活に重大な不均衡を起こす」←**すべての心の病気の原因ではありません!**

洞察力の大切さ 3 / 30

聡明な心は知識を求め

愚か者の口は無知を友とする。(15:14)



- 心の中を見抜く力

- 「知恵の秘密はあなたの普段の経験の中に閉じ込められています。もしそこから学ぶ方法を知っていれば、手に入れることができます。」TK

- ミス・マーブルのように

- アガサ・クリスティの小説に登場する架空の女性
- 小さな田舎町に暮らしながら、難事件を解決する
- 「最高に聡明な方であるイエスのように、彼女は人間を愛しましたが、[生まれつきの] 人間性は信用しませんでした」TK

自分を知る 3/31

顔が、水に映る顔と同じように、人の心は、その人に映る。
(27:19/新改訳)

- 内に向かうか、外に向かうか
 - 内省的: 自分の人生を振り返って調べる
 - 外交的: 他の人の人生から学ぶ
- 両方とも必要
 - 「内省的な人は外に出かけ、外向的な人は孤独な思索に時間をかける必要があります」TK
 - 「あなたが本来持っているのとは別の方向に向かうためには、どのように知恵を用いればよいでしょうか？」TK

本心を見抜く 4/1~2

上品な声を出すからといって信用するな／心には七つの忌むべきことを持っている。(26:23-25)

- 外見を重視する社会
 - 「外側のイメージや美しさに重きを置く文化」
- 巧妙な嘘が蔓延する時代
 - 経歴詐称・フェイクニュース・論理のすり替え…
- 神の知恵によって内面を見抜く
 - 「知恵ある者は偽善の外見を見通し、信頼することを差し控え、嘘を額面どおりに受け取りはしない。」
 - 「洞察力は、神の恵みとそれに伴う自己認識の中での成長を通して、与えられる(賜物)のです。」TK

祈り 4/1

主よ、外側のイメージや美しさに重きをおく文化に私は暮らしています。見かけで心が揺れ動かされることはありませんように。外見でえこひいきすることがありませんように。歴史上最も美しい魂の持ち主は、見た目が美しかったわけではないことを、どうぞ私に思い出させてください。

「この人は主の前に育った。見るべき面影はなく輝かしい風格も、好ましい容姿もない。」

(イザヤ53:2)